

都市再生整備計画 事後評価シート
松崎青笹地区

平成28年2月

岩手県遠野市

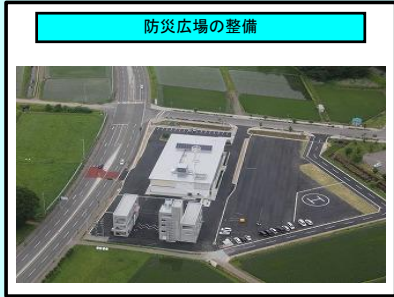
様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 岩手県 | | 市町村名 | 遠野市 | | 地区名 | 松崎青笹地区 | | | 面積 | 1.166ha | | |
|--------------------------------------|---|------------------------|---------------|---|---|---|------------|----------|-------|------------|---|---|-------------|
| 交付期間 | 平成22年度～平成26年度 | | 事後評価実施時期 | 平成26年度 | | 交付対象事業費 | 1,853.7百万円 | 国費率 | 0.264 | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | | 事業名 | | | | | | | | | | |
| | | | 基幹事業 | 公園、下水道、地域生活基盤施設(防災広場)、高次都市施設(遠野市総合食育センター) | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | | 提案事業 | 地域創造支援事業(遠野市総合食育センター) | | | | | | | | | |
| | | | 新たに追加した事業 | | 事業名 | | | 削除/追加の理由 | | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | |
| | 基幹事業 | 高次都市センター(多目的利用施設)の削除 | | | 東日本大震災を経験し、防災のために必要な機能を再検証する必要性が生じ、建設計画を見直したため。 | | | — | | | | | |
| | 提案事業 | — | | | — | | | — | | | | | |
| 交付期間の変更 | | 当初 | 平成22年度～平成26年度 | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | — | | | | | | |
| | | 変更 | なし | | | | | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 数値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| | 指標1 | 健康づくりプログラム実施回数 | 回/年 | 239 | 20年度 | 300 | 26年度 | | 216 | × | あり なし ● | 目標値を達成できなかったが、健康づくりプログラムを通じて住民の健康づくり意識向上に寄与した。 | 無し |
| | 指標2 | 健康診断の受診率 | %/年 | 35.5 | 20年度 | 40.0 | 26年度 | | 42.6 | ○ | あり なし | 総合食育センターの整備によって食育の推進が図られるとともに、健康意識が高まり、健康診断の受診率が向上した。 | 無し |
| | 指標3 | 防災訓練・講習会の開催回数 | 回/年 | 0 | 20年度 | 3 | 26年度 | | 3 | ○ | あり なし | 防災広場整備によって、エリア内の自主防災組織による自主的な訓練等の開催回数が増加した。 | 無し |
| 指標4 | スポーツ施設利用者数 | 人/年 | 69,686 | 22年度 | 70,800 | 26年度 | | 46,359 | × | あり なし ● | 目標値を達成できなかったが、公式大会と同じコンディション等でスポーツに参加できる環境整備により、利用機会の要素(回数・団体)は増加傾向にある。 | 無し | |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 数値 | | 目標達成度※1 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| | その他の数値指標1 | 食育センターを会場とした試食会等の利用団体数 | 回数 | 64 | 25年度 | | | | 77 | | | 総合食育推進拠点となる食育センターの整備によって試食会の開催等が可能となり、健康づくり意識向上に寄与した。 | 無し |
| その他の数値指標2 | 宅配福祉弁当の提供数 | 食 | — | | | | | 3,648 | | | 食育センターの整備によって高齢者の見守りを兼ねた福祉弁当の提供が可能となり、地域社会の安心に貢献した。 | 無し | |
| 4)定性的な効果発現状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・遠野市健康づくり総合大学プログラムの実施により、子どもから高齢者まで健康づくりへの意識高揚が図られた。 ・公式大会と同じコンディション等でスポーツに参加できる環境整備をすることにより、スポーツによる健康づくり及び地域間、世代間の交流が図られた。 ・学校給食における地産地消率の向上と食育に関する意識の高揚が図られたほか、高齢者の見守りを兼ねた福祉弁当の配達により地域社会の安心が図られた。 ・地域住民等に対する防災知識の普及啓発及び防災意識の高揚が図られた。 | | | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | 実施内容 | | | | | 実施状況 | | | | | 今後の対応方針等 | | |
| | モニタリング | | — | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | — | | |
| | 住民参加プロセス | | — | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | — | | |
| | 持続的なまちづくり体制の構築 | | — | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | — | | |

様式2-2 地区の概要

松崎青笹地区(岩手県遠野市) 都市再生整備計画の成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | 従前値 | 目標値 | 評価値 |
|--|----------------|----------------------|------------|------------|
| 健康づくり及び食育の推進による地域社会経済の維持と心身共に健康で豊かな暮らしの創出と災害に強い安全安心なまちづくり ・健康づくりの推進による心身共に健康で豊かな暮らしの創出 ・食育の推進による地域社会経済の維持と心身共に健康で豊かな暮らしの創出 ・災害に強い安全安心なまちづくり | 健康づくりプログラム実施回数 | 単位:回/年 239 H20 | 300 H26 | 216 H26 |
| | 健康診断の受診率 | 単位:%/年 35.5 H20 | 40.0 H26 | 42.6 H26 |
| | 防災訓練・講習会の開催回数 | 単位:回/年 0 H20 | 3 H26 | 3 H26 |
| | スポーツ施設利用者数 | 単位:人/年 69,686 H22 | 70,800 H26 | 46,359 H26 |



| | |
|---------------------|---|
| まちの課題の変化 | 公園、防災広場等の整備により、総合的な健康づくりに寄与する環境が形成された。 総合食育センターを核とした食育推進拠点が整備され、家庭、学校、地域及び生産者が一体となった取り組みが推進されつつある。 |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む) | ・食育センターが市の食育推進拠点であることを市民に周知するとともに、啓蒙活動の充実に努める。また、食育センターのさらなる多機能化を推進する。 ・食料生産者や消費者のほか、食育に関わるスペシャリストの養成とネットワークづくりに努める。 ・市民の自主的な健康づくり活動を支援するため、レクリエーションの一環として気軽に楽しむことができるニュースポーツをPRし、生涯スポーツ競技人口の拡大を図る。 ・地域防災拠点である防災広場における消防団の消防操法訓練及び婦人消防協力隊による消火訓練等、市民による各種防災訓練の定期的な開催を促進する。 |

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

| 委員構成 | | 実施時期 | 担当部署 | 委員会の設置根拠 | 委員会の母体組織 |
|-----------|---|------------|--------------------|-----------------------|----------|
| 学識経験のある委員 | 南 正昭 岩手大学工学部 社会環境工学科 教授 | 平成28年3月14日 | 経営企画部 まちづくり再生担当 | 遠野市社会資本整備総合交付金評価委員会要綱 | 独自に設置 |
| その他の委員 | 都市計画審議会委員 佐々木 栄洋、松田 和子 岩手県建築士会 菊池 公明 | | | | |

| 審議事項※1 | 委員会の意見 | |
|----------------|---------------------------|---|
| 事後評価手続き等にかかる審議 | 方法書 | ・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。 |
| | 成果の評価 | ・高齢者の見守りを兼ねた福祉弁当の提供も明記した方が良いとの意見があった。 |
| | 実施過程の評価 | ・特になし。 |
| | 効果発現要因の整理 | ・健康づくりプログラム実施回数について、震災の影響もあり、目標値に届いていないが、増加傾向にあることを説明し了解を得た。 ・スポーツ施設利用者数について、目標値に届いていないが、増加傾向にあることを説明し了解を得た。 |
| | 事後評価原案の公表の妥当性 | ・特になし。 |
| | その他 | ・特になし。 |
| | 事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認 | ・事後評価の手続きは妥当であると認められた。 |
| 今後のまちづくりについて審議 | 今後のまちづくり方策の作成 | ・食育センターの更なる多機能化に想定される事業として、災害時を想定した炊き出し訓練を加えた方が良いとの意見があった。 |
| | フォローアップ | ・特になし。 |
| | その他 | ・特になし。 |
| | 今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認 | ・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。 |
| その他 | ・特になし。 | |

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画

まつぎきあおざさ
松崎青笹地区

岩手県 とおの 遠野市

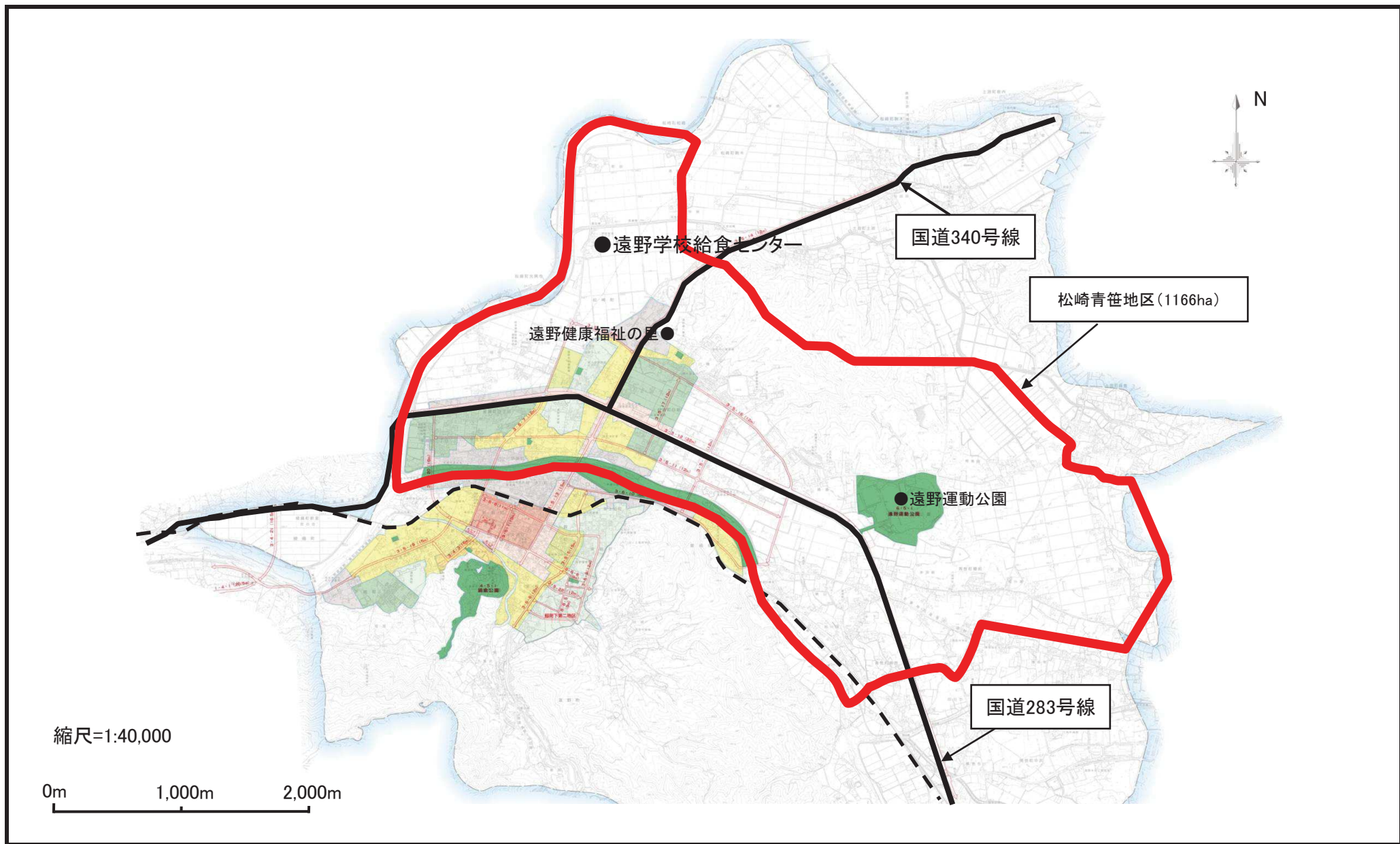
| | | |
|-------|---|----------|
| 当 | 初 | 平成22年3月 |
| 第1回変更 | | 平成24年7月 |
| 第2回変更 | | 平成25年3月 |
| 第3回変更 | | 平成26年12月 |

都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|--|---|
| <p>整備方針1(健康づくりの拠点整備による、心身共に健康で豊かな暮らしの創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野市健康づくり総合大学における基幹施設として、子どもから高齢者までの健康づくりを推進する。 ・市民一人ひとりがスポーツを通じた健康づくり活動に積極的に取り組める環境の構築により、生活習慣の改善を図るとともに運動習慣の普及を推進し、総合的な健康づくりに資する。 ・遠野市健康づくり総合大学の基幹施設及び公式大会と同じコンディション等の環境整備により、エリア内及びエリアに隣接する地域から利用者が集まることにより、地域間、世代間を超えた交流のある地域づくりを促進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業(基幹事業) ・公園(基幹事業) |
| <p>整備方針2(食育推進の拠点整備による、地域社会経済の維持と心身共に健康で豊かな暮らしの創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活の改善は元より、食文化の継承と開発に取り組み、食を通じた体験や交流の促進による地域づくりを推進する。 ・地場産品を活用した給食の提供、学校給食の試食体験、また郷土食の継承活動や食文化の研究に取り組む。 ・学校給食施設の2階部分に地域交流施設を整備することにより、家庭、学校、地域及び生産者が一体となった取り組みにより食育を推進する。 ・心身共に健康で豊かな暮らしが将来にわたって持続していくまち(地域社会)の実現を可能とするために必要な施設として位置づける。 ・都市再生整備区域のエリアを心身共に健康で豊かな暮らしが将来にわたって持続していくまち(地域社会)の実現を目指す具体の地域として関連づける。 ・新総合食育センターにより、地場産品を活用した給食提供を行い、食の安心・安全を確保し、雇用の確保と農家収入の増加により地域社会経済の維持を図るとともに、家庭、学校、地域及び生産者が一体となった地域の食文化継承等の食育推進活動を進め、心身共に健康で豊かな暮らしが将来にわたって持続していくまち(地域社会)の実現を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センター(総合食育センター)(基幹事業) ・総合食育センター(提案事業) ・下水道事業(基幹事業) |
| <p>整備方針3(災害に強い安全安心なまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案事業として整備される学校給食センターは、地域防災計画で炊き出し施設として位置づけられていることから、災害時には(新)消防庁舎との連携により、防災の拠点となる。 ・防災広場は、災害時に活動する防災ヘリコプター用のヘリポート機能を備えるとともに消防団のポンプ操法訓練、及び婦人消防協力隊による消火訓練等の市民による各種防災訓練を行う地域防災拠点と位置付け安全安心なまちづくりを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センター(総合食育センター)(基幹事業) ・総合食育センター(提案事業) ・地域生活基盤施設(防災広場)(基幹事業) ・下水道事業(基幹事業) ・遠野市消防庁舎整備事業(関連事業) |
| <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり ・遠野市健康づくり総合大学による健康づくり活動の普及による住民の自主的な健康づくり活動の実施。 ・住食生活改善推進員と住民が連携し、継続して食育を推進することで、住民が自主的な食生活の改善を行う。 ・自主防災組織による自主的な訓練・講習会の実施。 <p>○交付期間中の計画の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりプログラムの推進について市民に対する継続的な広報を行う。 ・食育推進の取組の実施状況を毎年度確認する。 ・自主的な防災訓練の実施について、継続的な啓発を行う。 | |

都市再生整備計画の区域

| | | | | |
|----------------|----|---------|----|------------------------------------|
| 松崎青笹地区(岩手県遠野市) | 面積 | 1166 ha | 区域 | 松崎町白岩の全部及び青笹町青笹、青笹町糠前、早瀬町、土淵町土淵の一部 |
|----------------|----|---------|----|------------------------------------|



松崎青笹地区(岩手県遠野市) 整備方針概要図

| | | | | | | | |
|---|---------------|----------------------|--------|--------|---|--------|--------|
| 目標 健康づくり及び食育の推進による心身共に健康で豊かな暮らしの創出と災害に強い安全安心なまちづくり ・健康づくりの推進による心身共に健康で豊かな暮らしの創出 ・食育の推進による心身共に健康で豊かな暮らしの創出 ・災害に強い安全安心なまちづくり | 代表的な指標 | 健康づくりプログラム実施回数 (回/年) | 239 | (20年度) | → | 300 | (26年度) |
| | | 健康診断の受診率 (%/年) | 35.5 | (20年度) | → | 40.0 | (26年度) |
| | | 防災訓練・講習会の開催回数 (回/年) | 0 | (20年度) | → | 3 | (26年度) |
| | | スポーツ施設利用者数 (人/年) | 69,686 | (22年度) | → | 70,800 | (26年度) |

